

各 位

平成 19 年 4 月 27 日

会社名 株式会社コロワイド

代表者名 代表取締役 蔵人金男

(コード番号 7616 東証第一部)

問い合わせ先 専務取締役 野尻公平

(連絡先電話番号：045-274-5970)

特別利益および特別損失の発生ならびに

平成 19 年 3 月期通期（個別・連結）業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記の通り特別利益および特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 2 月 9 日に公表いたしました個別・通期業績予想および連結・通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

〔Ⅰ〕 特別利益の発生について

(連結)

平成 19 年 3 月 31 日に、当社連結子会社の株式会社宮（所有割合 52.2%）およびアムゼ株式会社（所有割合 100.0%）が、株式会社宮を存続会社として合併しております。当該合併は「企業結合に係る会計基準」における共通支配下の取引に該当し、「事業分離等に関する会計基準第 38 項」および「企業結合会計基準および事業分離等会計基準に関する適用指針第 249 項」に従って会計処理を実施した結果、合併に伴うアムゼ株式会社の所有割合の低下（合併後所有割合 91.58%）により、時価評価額と帳簿価額との差異に相当する「持分変動差益」5,377 百万円が新たに発生いたしました。

また、当社連結子会社の株式会社アトムにおいてポイントカードの有効期限が到来し、ポイントが失効したものについて、ポイント引当金戻入額として 208 百万円計上することといたしました。

〔Ⅱ〕 特別損失の発生について

(個別)

当社が保有しておりました当社連結子会社である株式会社ダブリューピーージャパンの全株式を「組織再編を含めたグループ機能の効率化」の一環として、営業基盤が同一エリアである株式会社コロワイド東日本に売却したため、子会社株式売却損 229 百万円が発生いたしました。

(連結)

当期末時点におきまして、不振店舗等を対象に、新たに 81 物件に対し減損損失 3,562 百万円を追加計上することといたしました。

また、平成 20 年 3 月期における閉鎖予定店舗 63 店舗に対し、合理的に見込まれる閉店関連損失見込額を閉店損失引当金繰入額として 911 百万円計上することといたしました。

〔Ⅲ〕 業績予想の修正について

1. 通期個別の業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,216	1,230	956
今回修正予想 (B)	2,217	1,272	813
増減額 (B-A)	1	42	△ 143
増減率	0.0%	3.4%	△ 15.0%
(ご参考) 平成 18 年 3 月実績	2,088	1,336	527

〔金額単位：百万円〕

2. 通期連結の業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	117,441	2,566	△796
今回修正予想 (B)	116,954	1,652	249
増減額 (B-A)	△ 487	△ 914	1,045
増減率	△0.4%	△35.6%	—
(ご参考) 平成 18 年 3 月実績	93,064	3,946	406

〔金額単位：百万円〕

売上高につきましては、第 4 四半期におきましても飲酒運転の社会問題化等の影響もあり、居酒屋業態につきましては、継続して厳しい事業環境が続いております。また、年度末の 3 月における宴会需要も予想を下回ったことから前回予想売上高を若干下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、牛肉や魚介類を中心とした原材料費の高騰、高止まりによる粗利益への直接的な影響や、求人難によるパート・アルバイトの時給単価の上昇および募集コストの増加、また、設備投資関連費用の負担増などにより、前回予想経常利益を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、不振店舗に関し抜本的対策を施すことが中長期的な収益性向上につながることから、閉鎖予定店舗を確定し、当期末において合理的に見込まれる閉店関連費用を引当金計上いたしております。

また、昨年来の環境の変化は、今後も継続するものと考えられ当期末時点における不振店舗等に対し、前述のように大幅な追加減損処理を実施いたしております。

以上の特別損失の計上を行うものの、前述の特別利益の計上に伴い当期純利益につきましては前回予想当期純利益を上回る見込みとなりました。

以上